

## 2025年度文部科学省委託事業

「学校図書館行政促進を目的とした教育委員会向けパンフレットの作成」

## 学 び の 中 心 に



学校図書館には今、追い風が吹いています。読書推進の観点ではもちろん、SNS等に偽・誤情報が溢れる中、「情報を見極める力・使いこなす力」も求められ、その潜在能力を發揮しまくることは待ったなしです。それに何より、現行でも皆実践が必要とされる、一人一人の「好き」を育み「得意」を伸ばす「個別最適な学び」。その中心であるべき学校図書館への期待は極まり知らずといえます。まずは児童生徒が放課後を含め、いつでも自由に読書や学習で使えるよう「常時開館」から始めましょう。

学校図書館長である校長は、司書教諭、学校司書と力を合わせ、幅広い教科等での利活用、図書予算の早期完全執行、居心地の改善など、しっかりやり切る。

教育委員会では、学校ごとの図書標準達成状況、利用状況、学力等のデータを常に見つつ、指導主事が頻りに学校を訪問し、改善・充実への指導助言。最後は、教育長の果断で追加予算配分等を含め、学校間の格差是正と全体水準向上を図り、予算や人員の更なる不足分や新たな課題需要は次年度要求に必ず生かす。

このように学校現場から教育委員会まで連動した一体的支援を行うことにより、我が国の学校図書館全体がその発展に向けて大きく前進すると信じてやみません。

文部科学省 大臣官房教育改革調整官 坪田知広氏

# 教育現場の課

## ●情報社会の課題に！

SNS の危険性など情報指導が課題となっています。以前から学校図書館は、**情報センター**として印刷体もデジタル情報も対象にしてきました。学校図書館は、情報への向き合い方、信頼性の吟味、情報検索の方法、著作権や引用のしかたなど、**すべての教科での情報の扱い方の指導**をします。

学校図書館と ICT 担当が別々に動いては、モレ、ズレ、ダブリが出てきます。**学校図書館 +ICT** が協働で指導に取り組むことが大切です。

扱うのは物語だけではありません。様々なグラフや統計データも提供します。算数・数学でも学校図書館は頼りになるのです。学校図書館は**すべての教科に対応**した支援をします。

「様々なグラフの特徴を理解し、目的に応じて複数のグラフから適切なグラフを選択してデータの特徴や傾向を捉え判断し、その判断の理由を表現できるようにすることが重要である。」

(2. 教科に関する調査結果 (3) 小学校算数 データの活用 指導改善のポイント)

## ●多様性への対応！

教室の中も多様性への対応が必要になってきました。いろいろな児童生徒の希望にこたえたり、**外国語の資料**を入手したり、また、多様性へ対応する**教員への情報提供**など、学校図書館ならではの情報収集ができます。

**個別最適な学びにも！  
情報活用能力育成の中心に！  
「探究」「主体的・対話的で  
深い学び」の中心に！**

## 生きる力



# 題に役立つ！

・・・「令和7年度全国学力・学習状況調査の結果（概要）」  
（令和7年7月 文部科学省・国立教育政策研究所）にはこんな記述が・・・

## ●主体的・対話的な学びに！

「社会経済的背景（SES）」×「主体的・対話的で深い学び」×「正答率」の関係  
家庭の社会経済的背景（SES:Socio-Economic Status）\* が低いグループほど、各教科の正答率が低い傾向が見られる中でも、「主体的・対話的で深い学び」（※）に取り組んだ児童生徒は、SESが低い状況にあっても、各教科の正答率が高い傾向が見られる」

（3. 質問調査結果（児童生徒、学校）（1）学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の取組状況  
①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 三重クロス集計）

\* 本調査では、児童生徒質問調査〔22〕「家にある本の冊数」をSESの代替指標として利用  
（※）「児童生徒〔32〕課題の解決に向けて自分から取り組んだか」以外の「主体的・対話的で深い学び」に関する回答でも同様の傾向。

「小・中学校ともに、約7～8割の児童生徒が主体的に学習を調整できている。

・主体的に学習を調整できていると考える児童生徒の方が、各教科の正答率・スコアが高い。」

（3. 質問調査結果（児童生徒、学校）（1）学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の取組状況  
②主体的な学習の調整 ポイント）

## を培う



各教科で学んだ知識を総合的に組み合わせ、主体的に考える学習。多様な情報を比較し、話し合い、討論も。

学校図書館の**学習センター**としての活用です。本当に知りたいことは自分から取り組む。そうか！わかった！という満足感。

**考える力がつく！**

学校図書館のとくいな支援です。

「複数の資料を結び付けて読む学習活動を設定し、それぞれの資料がどのような関係にあるのかを考えながら読むことが重要である。」

（2. 教科に関する調査結果（1）小学校国語 読むこと 結果のポイント②-2 指導改善のポイント）

複数の資料の収集は学校図書館の専門の仕事！  
**授業者と相談し多様な観点で収集・提供します。**



# 学校図書館は こんなところです！

学習指導要領解説にある

## 3つの機能

とは…

### 読書センター

#### 読書指導・活動の拠点

読書力を育み、児童生徒の創造力や想像力を培い、豊かな人間性を育む。

### 学習センター

#### 多様な学習活動の拠点

多様で豊富な情報活用で、児童生徒の自発的・主体的な学習を支援する。

### 情報センター

#### 情報活用能力の育成

多種多様な情報源を提供し、情報の収集・評価・活用などの「情報活用能力の育成」を指導・支援する。

## 2つの専門家が教育活動を支えます。

教員免許を持つ  
授業と  
情報教育のプロ

司書教諭



学校司書

情報の扱いを学んだ  
情報のプロ

こんな授業ができますよ  
こんな情報教育の指導はどうですか  
著作権や引用の指導は？  
など、担任や授業者と一緒に考えます

こんな情報がありますよ  
こんな調べ方ができます  
こんな本を読んではどうでしょう  
など、情報収集・提供や相談にのります

## 情報社会の課題に！ ① … アナログもデジタルも

情報は多様です。アナログもデジタルも情報です。情報源はどこか、信頼できる情報かどうか等の確認力を身につけさせていくことが必要とされます。児童生徒自らが主体的に学びを深めていく中で、情報のメリット・デメリットを理解し、使い分けができるように育てていかなければなりません。発達段階を考えながら情報の入手先を増やし、情報活用能力を身につけさせていきます。

アナログ	① 具体物 人に聞く	体験・人からの情報 聞き取り・アンケート など
	② 紙媒体など	紙などの媒体（図書・雑誌・新聞・パンフレット など）
デジタル	③ 閉鎖型	データベース（事典・新聞 など） 内容によって検索方法やキーワードの入れ方などが違う
	④ 開放型	インターネット など 信頼できるものを選んで使う

## 主体的・対話的な学びに！ … 学びの強い味方！学校図書館

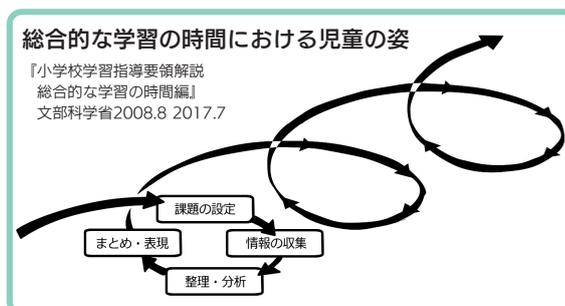
主体的・対話的で深い学びを実現するためには、学校図書館の活用が不可欠です。学校図書館は、あらゆる教科、学習活動で、発達段階に合わせた情報活用スキルを培うことができ、探究的な学びをトータルでサポートできる強い味方です。

### 1 課題の設定

課題設定の方法、知りたいこと深めたいことを見つける手法を発達段階に応じて提案

### 2 情報の収集

図書・新聞・Web サイト等多様な情報源を活用情報の集め方・情報源の確認等を支援



### 3 整理・分析

情報を分類したり関連性を考えたりして、新しい考えを構築するのを支援

### 4 まとめ・発表

レポートの書き方、プレゼンの方法も提案、支援

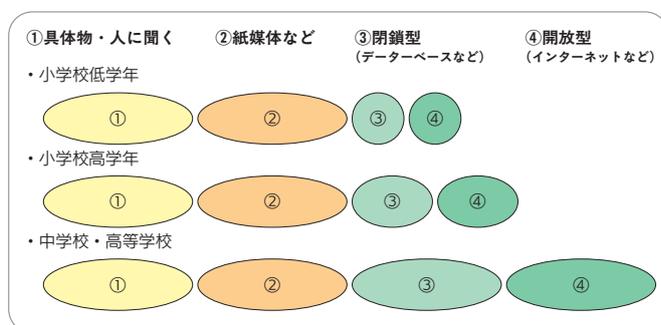
## 学校図書館で情報活用スキルを計画的に指導します！

- ・テーマの設定方法
- ・調べ方の選択
- ・情報検索の仕方
- ・インターネットの使い方
- ・図鑑の使い方
- ・目次・索引の使い方
- ・インタビューの仕方
- ・抜書き / 要約 / 引用の方法
- ・情報カードの書き方
- ・レポートの書き方
- ・いろいろな発表の仕方
- ・発表時の話し方、資料提示の仕方
- ・学習成果とプロセスの評価など

\* 情報活用授業コンクール 授業実践ヒント集



## 情報社会の課題に！ ② … 発達段階を考慮しながら



小学校低学年は、具体物や具体性があることで理解が進みます。抽象概念が形成されるなど発達段階を考慮しながらアナログから順次、情報活用能力を伸ばしていきます。

発達段階や経験によって①から④の割合が違ってきます。学習内容によっても割合が異なります。

- ・情報の信頼性の確認が必要です
- ・情報活用能力の育成に学校図書館が大きな力を発揮します
- ・学校図書館担当者だけでなく、ICT 教育、生徒指導、道徳等の担当者が協力し合い、年間指導計画の中のどこで学校図書館を活用し、どの情報スキルを学ばせるのかを明確にしておきます

## 多様性への対応！ … 発達段階や個に応じた対応を

### 発達段階や個に応じた多様なグレード・分野などバリアフリーにも対応！

発達段階に応じた多様な資料や、特性を持った個に応じた資料（例えば、LLブック・DAISY図書・多言語の資料など）も提供します。自校で不足している資料は、公共図書館や外部とのネットワーク（地域施設、新聞社などの企業等）で借りて対応できます。社会に出てからの資料活用、生涯学習の基礎ともなっています。

## すべての学びの基礎は「読む力」 今こそ、いっそう読む力の育成を

### 読む楽しさや学ぶ楽しさを学校図書館は支援します！

読書は一生の生きる力になります。読む力は、人間としての成長を支える力と情報を使いこなす力となるという2つの面から大切です。

本の中で様々な世界を疑似体験し、新たな考え方、価値観、判断力を培い、感情管理の方法も学ぶことができます。何か困難に直面したときにも本は人生を支えてくれます。

紙の本からでもデジタルからでも情報を得るためには読む力が必要です。調べたい情報が探せる、情報を的確に読む、くらべて読む、重ねて読む、つなげて読む、情報源の確認ができるなど、情報を使いこなすためにも確実な読む力が求められています。

脳科学者、認知科学者は、紙の本の方が、読み取り、思考、記憶力等について勝るとの見解を示しています。特に、低・中学年時は紙の本で、しっかり読む力や思考力をつけていく必要があると言えます。

そのためにも、学校図書館の蔵書を充実させ、大いに使わせたいものです。

「読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものである」(子どもの読書活動の推進に関する法律 2001)

「ここでいう読書とは、文学作品を読むことに限らず、自然科学・社会科学関係の本や新聞・雑誌を読んだり、何かを調べるために関係する本を読んだりすることなども含めたものである。」(『これからの時代に求められる国語力について』文化審議会 2004)

### あ あなたのところではどうですか？



- 「学校図書館図書標準」は達成されていますか？
- 地方交付税措置された図書予算を消化していますか？
- 学校図書館を授業で活用していますか？
- 「学校図書館法」や「学校図書館ガイドライン」をもとに活動が進んでいますか？

## 教育委員会ができること・すべきこと ①

### 「主体的・対話的で深い学び」や「探究的な学び」を進めるために

●「教育大綱」や「教育振興基本計画」のなかに、読書活動や深い学び、探究的な学び等に**学校図書館が必要なことを明記**する。

●学校図書館担当指導主事と情報教育担当指導主事が、「**情報活用教育推進係**」などの情報教育の係に所属して協力しているところもある。

●一般教員を対象とした「探究的な学びのデザイン」等の**研修会**を図書館活用の視点で開く。

●施策は、**首長や教育長からのトップダウンで進められることも**  
指導主事等からの**ボトムアップ**も

●指導主事のほかに「探究学習アドバイザー」など学校図書館活用の**学びのための専門の担当者**を置いて、**担当指導主事と協働**。



この担当者に、学校図書館に造詣の深い元校長を採用してよいパイプ役となっている自治体がある。

●教育長や教育委員が、学校図書館活用教育の**公開授業を参観**して、理解を深める。

●**学校図書館を活用した日常的な授業も**  
どんどん参観しましょう

### 学校図書館施策を効率的に進めるために

●**上部事業や関連事業に含めて実施**する。  
・「学力向上推進事業」や「学校教育 DX 推進計画」等のなかに学校図書館の施策を含める。  
・県教育委員会が毎年実施する小・中・義務教育学校への「学校教育実施状況調査」に「学校図書館の現状に関する調査」を含める。高校・特別支援学校は「県図書館統計調査」に含める。

●自治体の小中学校の新聞購読について、**教育委員会が一括して契約**しているところがある。

●**公益財団法人や一般財団法人等と連携**して図書購入の資金助成を受けたり、新聞を寄贈してもらったりする。

●国費事業を市町村に再委託したり、文部科学省等の**委託事業募集や民間の補助金の情報を提供**したりする。

●**読書の必要性や学校図書館の重要性だけを訴えていても変わりません**

**地域のニーズに学校図書館を関連付けて、予算をつけ人を配置するように仕向ける『工夫』が必要です！**

●教育委員会内の**横断的な連絡・連携を密**にする。

●**学校図書館関連のサイトを作って発信**する。  
・関連情報や学習指導案、学校図書館ハンドブック等のツールも掲載。  
・発信した情報やツールは毎年見直しをする。

## 教育委員会ができること・すべきこと ②

### 学校図書館を活用して学びを豊かにするために ●生きる力の「根っこ」を育てるのは学校図書館です！

●学校図書館活用推進モデル校を指定して授業公開し、授業実践例を発信する。

●図書の整備状況や物的・人的環境等に基づいて「優良学校図書館」「優秀学校図書館」を認定したり、読書活動優秀校に「知事賞」「教育長賞」を授賞したりする。

●学校司書の勤務日数・時間を増やす。

●授業支援に役立つように、学校司書に端末を配備し、ネットワークのアカウントを付与する。

●学校図書館支援センターや学校図書館支援室等の、学校図書館活用の振興を図る組織を設置し、指導主事を置く。

●校長の認識やリーダーシップを高める。

- ・校長会や新任校長研修会の内容に、学校図書館の重要性等について入れる。
- ・年度当初の校長会で学校図書館館長の任命書を渡す。
- ・学校図書館長向けに学校図書館活性化ガイドを作成している自治体もある。

●全校（11学級以下も）に司書教諭の発令や学校司書の配置をする。

- ・司書教諭を発令して任命書を渡す。
- ・小学校で、低中高学年担当の3人や2人の複数の司書教諭を置いているところもある。

●学校図書館研修の実施

新任・一般教員の研修／学校司書新規採用者研修／学校司書のICTスキルアップ研修／司書教諭の探究学習デザイン研修／ICT担当者との合同研修等

### 学校への指導のために ●学校訪問の目的に関わらず、必ず学校図書館に立ち寄り、状況を把握しましょう

●「学校図書館ガイドライン」（文部科学省）を周知する。

●司書教諭のための活動時間を確保するために、授業時間数の軽減を図る工夫をする。

●教科学習や探究的な学び等に役立つ資料提供を。

●学校評価に授業で図書館を利用した回数なども。

●学校のサイトに学校図書館のページを設定するように促す。

●「学校図書館図書標準」の達成を周知し、適正な更新を行う。

●学校図書館年間指導計画の作成や、学校図書館活用のための委員会の設置を義務付ける。

●学校図書館担当者とICT教育担当者と連携・協働して学校図書館年間指導計画と情報教育年間計画を統合しているところもある。

2025年度文部科学省委託事業  
「学校図書館行政推進を目的とした教育委員会向けパンフレットの作成」

### 学びの中心に学校図書館を！

2026年2月28日 発行

編著者 公益社団法人全国学校図書館協議会指導主事研修委員会  
発行所 公益社団法人全国学校図書館協議会

〒113-0034 東京都文京区湯島3-17-1 湯島大同ビル  
TEL.03-6284-3722(代) FAX.03-6284-3720  
<https://www.j-sla.or.jp/>